

防犯・防災

高齢者の交通安全対策



伊川 京子 議員

このところ高齢者に関する交通事故のニュースが増えてきており、注意喚起がなされている。高齢者が被害者になるケースや加害者になるケースも多いことから、これまで以上の取り組みが必要と考える。現在、高齢者を対象にした交通安全講習会等の取り組みはどうなっているのか。また、今後、取り組みを強化する考えはないのか尋ねる。

答

高齢者を対象とした交通安全講習会については、運転シミュレーターを使用し運転の適性診断等を行う実践型の交通安全教室と、市内の教習所等での急ブレーキや緊急回避等の実技講習の2種類を、年に1回ずつ行っている。



市政 一般質問



12月定例会では、16名の議員が質問を行いました。主な内容をご紹介します。

● 索引 ●

- 防犯・防災 …… P6
- 教育・文化・スポーツ …… P10.11
- 福祉・医療・保健 …… P7.8
- 都市整備 …… P11.12
- 産業・経済・労働 …… P8.9
- 行財政・一般 …… P12~14

防犯・防災

新基準の 消防団員活動服への更新



井上 潤一 議員

平成26年度から新基準となった活動服は、大村市消防団貸与品及び給与品規則では、使用期間は4年となっているため、本来ならば平成30年度には全て交換する時期になると思われる。夜間に災害が発生した場合、新基準の活動服はよく目立つため、団員の安全確保の観点からも、一斉に交換することはできないか。また、同規則の給与品の使用期間を見直す考えはないか尋ねる。

答

規則では、給与品の使用期間について、「ただし、やむを得ない事情があるときは使用期間を伸縮することができる」となっているため、使用期間終了後も活動に支障がなく着用が可能であれば、そのまま着用していただいている。今後、予算を確保し、順次交換していき、あわせて、規則の見直しも行いたい。

防犯・防災

普通自動車運転免許と 中型免許



井上 潤一 議員

平成29年3月12日に改正道路交通法が施行され、普通自動車運転免許で運転できる車両は3.5トン未満となるため、今後、消防ポンプ車を運転できなくなる。将来的に準中型以上の免許証保持者がおらず、出勤すらできない事態が想定される。消防団員が準中型免許を取得する際に、一部助成などの支援はできないか尋ねる。

答

消防団員の免許については、本市だけでなく全国的な問題であるため、国からの交付金等の措置や他の自治体の動向を踏まえ、調査研究したい。

